

2013年  
6月1日  
第335号



# JR東海労



山岡けんじ

9条堅持！ 〒143-0061 東京都大田区石川町1-14-11  
グリーンヒルズ大岡山102号

TEL 03-6421-8320 FAX 3728-5071  
Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

JR東海労働組合

発行人 淵上 利和  
編集人 高山 浩

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

## 憲法改悪阻止、反核・反原発・反リニア、強権的労務管理粉碎！ 第28回定期大会に結集しよう！



昨年の第27回定期大会より

本部は第28回定期大会を、6月16日名古屋市中区で開催します。  
今定期大会は、政治やJR東海を取り巻く情勢において、多くの課題が山積しています。重要な方針を全代議員のもと確立し、職場からの闘いをつくり出さなければなりません。

**憲法9条を守るために、参議院議員選挙戦を闘おう！**  
昨年末に誕生した安倍政権は、日本を戦争の出来る国につくり上げるための方策を打ち出しています。まずは、憲法96条を改正(悪)し、憲法改正のための手続きについて、国会議員の3分の2から2分の1にハードルを下げてから、自衛隊を「国防軍」と改称することなどを盛り込んだ憲法9条の改悪を目論んでいます。すでに衆議院は、改憲派は自民党のほか日本維新の会などを含める

と3分の2をクリアしています。今夏行われる参議院議員選挙で、憲法9条が改悪されるかどうかの岐路に立たされています。さらに、原発の再稼働、労働者の解雇条件緩和の新制度づくり、リニア中央新幹線建設などの問題も山積しています。JR東海労は、平和で戦争のない社会、地球を破壊する原発のない社会を目指すため、参議院議員選挙では、JR東海労の運動方針を国政の場に届けてくれる候補者を推薦し闘います。

### 松崎明さんの遺志を継承する労働運動をつくらう！

松崎明さんが亡くなり2年半以上が経ちました。JR東海労は、松崎さんが築いてきた労働運動を継承するため、職場から闘って来ました。しかし、松崎さんの運動をことごとく否定する内部からの組織破壊者が出たのも現実です。それが嶋田一味です。私たちは、JR総連の仲間と共に糾弾訴訟の闘いを展開して来ました。不当にも一審は敗訴しましたが、控訴かなければなりません。この闘いは、形式的には裁判闘争ですが、内容上では、JR総連の労働運動つまり松崎さんがつくり上げた労働運動を否定する者との闘いです。

ます。今年1月、関西支社管内の21才の駅社員が自ら命を絶つという痛ましい事件が発生しました。会社の労務管理の犠牲者です。これまで多くのJR東海社員が死を選んできたのです。二度とこのような悲劇を繰り返してはなりません。私たちはこの間、働きやすい職場づくりを目指し、会社の労務管理に對し闘って来ました。日勤教育をはじめとする職場の諸問題に正面から立ち向かって来ました。しかし、社員の命が奪われるという現実においては、まだまだ課題が残されています。今までの以上で職場から闘う態勢を構築していかなければなりません。

一方、リニア中央新幹線建設は多くの反対意見を無視して進められています。今秋には環境影響評価準備書が出され、工事着工が射程距離に入ろうとしています。反リニアの闘いは正念場を迎えます。それに合わせ、効率化、労働条件や福利厚生への切り下げが行われることが予測できます。労働条件改善の闘いと結合させて、闘っていかねばなりません。そして、全ての闘いを組織拡大に結実させていくようではありませんか。今大会の成功に向け、多くの組合員の参加をお願いします。

強権的労務管理を粉碎し、明るい職場をつくらう！  
職場は「命令と服従」「規律と忠誠心」の強権的労務管理が横行している。

「規程と忠誠心」の強権的労務管理が横行している。職場は「命令と服従」「規律と忠誠心」の強権的労務管理が横行している。

「規程と忠誠心」の強権的労務管理が横行している。職場は「命令と服従」「規律と忠誠心」の強権的労務管理が横行している。



日本維新の会共同代表の橋下徹大阪市長は5月13日、戦時中の旧日本軍慰安婦について「銃弾が雨嵐のごとく飛び交う中で命をかけて走っていき、精神的にも高ぶっている猛者集団をどこかで休息させてあげようと思ったら、慰安婦制度は必要なのは誰だってわかる」と述べ、慰安婦は必要だったとの認識を示した。また「なぜ日本の慰安婦だけが世界的に取り上げられるのか。日本は国をあげて強制的に慰安婦を拉致し、職業に就かせたと世界は非難している」「事実と違うことで日本国が不当に侮辱を受けていることにはしっかりと主張しなければいけない」と語ったと報道された。その後、韓国をはじめ世界各国から、非難と謝罪を求める声が上がった。▼安倍政権になってから、過去の歴史認識・歴史修正問題を改正する言動が後を絶たない。一連の発言の意図は何か？安倍首相が言論を避けるのは、あえて発言させて、国際社会世論の反応を見たいという意図があるのではないのか？▼安倍政権が進める、戦争できる国づくりと同じであることは明らかだ。今、私たちに問われるのは、過去を反省し、二度と戦争を起こさないために、憲法9条を守ることである。

# 憲法9条の改憲を許さないぞ!

## 66回目の憲法記念日、各種行事に参加

66回目の憲法記念日となる5月3日、各地で憲法を守る集会が開催され、多くの組合員が参加しました。

東京では憲法を守る市民集会が日比谷公会堂で開催され、労働者・市民で会場を埋めつくしました。

静岡県袋井市では、「憲法記念日袋井市民のつどい」が開催され、東京新聞論説兼編集委員・半田滋氏が「自衛隊は憲法改正でどう変わるか」と題した記念講演を行いました。

また静岡地本は、4月27日にも、静岡県9条連主催の「平和の集い」に参加しました。集いでは映画「放射能廃棄物、終わらない悪夢」の鑑賞、世話人代表(JR東海労OB)増田豊重さんが憲法9条をめぐる情勢



を報告しました。

大阪では、「阿部政権の改憲暴走を許さない! 5・3憲法のつどい&パレード」(実行委員会…大阪憲法会議、護憲・大阪の会、憲法を生かす会・大阪、とめよう改憲・おおさかネットワーク、憲法9条の会・大阪、大阪宗教者9条ネットワーク)がエルおおさかで開

催されました。参加者は全体で約950名で、新幹線関西地本は9条連近畿の仲間と共に参加しました。講演で浦辺法苗(うらべのりほ)神戸大学名誉教授は、「憲法9条は世界で率先して帝国主義との決別を宣言した誇るべき条文。変えれば国際的な信用を失う」と訴えました。

## 酒気帯びはデッチ上げだ! 齊藤書記長が堂々と意見陳述! 報復処分撤回裁判第1回控訴審

5月27日、報復処分撤回裁判の第1回控訴審が東京高等裁判所で開かれ、東京第二運輸所分会齊藤書記長が冒頭陳述を堂々と行いました。この裁判は1月23日、



東京地方裁判所で懲戒権の乱用が認められ、齊藤書記長への減給処分無効が言い渡されました。会社は不服として控訴しました。しかし、第一審では酒気帯びが認定されたことと、不当労働行為性が認められなかったことで、齊藤書記長も控訴しました。

は「酒気帯びは管理者の恣意的判断である。最初のコブ(乗務列車)は間に合わないから待機を命じられた。酒気帯びなら勤務に就かせない。同僚からも酒臭が全くなかったと言っている」。「会社はJR東海労を嫌悪している。2月1日に組織拡大

## 恣意的カッター理由が 続々出される!

### 島津力さん第1回労働審判

5月17日、大阪交番検査車両所分会・島津力さん

の第1回労働審判が行われました。新幹線関西

### 田城議員 便り



追悼 今野 東 様  
去る4月24日、今野東前参議院議員が急逝されました。

その日、厚生労働部門会議に出席していた際に、懇意にしている新聞記者から「今野東さんが亡くなられたという情報があります。本当ですか?」というメールが入りました。あまりにも突然すぎて、にわかに信じ



のボーナスカット理由を明記してあったことが判明しました。島津さんは「今後は苦情処理会議の中でも、このように理由を明らかにして下さい」と主張しました。島津さんの主張に審判員もようやくに促しましたが、会社は頑なに拒んだことが報告されました。

地本は、これを受けて、島津さんに連帯する報告集会を開催しました。島津さんの報告によると、会社は5月7日に提出した答弁書に、18件も

られない思いで、近くに着席されていた宮城県選出の衆議院議員にお聞きすると、小さく頷かれたことで、今野さんの死を知り得ました。私は、突然の訃報に涙が止まりませんでした。すぐに会議を退席し震える声を抑えて、JR総連・武井委員長、JR東労組・千葉委員長をはじめ関係者に訃報を伝えました。

思い起こせば、国会の中で今野さんはとにかく穏やかな方でした。アウンサーであり東北弁を巧みに操る当方落語家でありましたが、誰とでもにこやかに接し、普段は物静かで口数はそれほど多くはありませんでした。

また、とてもオシャレで、トラッドスタイルのスーツとボタンドアウンのシャツを着こなし、その姿はいつみてもスマイルで、ガサツな私は「自分もあんなりたい」とあこがれにも似た気持ちを持つていました。

今野さんは「先生」と呼ばれることを殊の外嫌い、権威主義とは対極にいる人でしたが、ひとたび平和憲法、特に9条に関する事、そして人権問題に関しては論法鋭く持論を展開する頼もしい先輩議員でもありました。民主党法務部門会議で、顔を真っ赤にして法務省の役人と渡り合う今野さんの姿をいまでも思い出します。

私の選挙戦の最中に今野さんが私に指摘された「田城君、太った政治家が壇上にドデドデと上がっていくと、政治に対するフットワークまで遅いと見られる。痩せた方がいいよ」という課題はまだまだ克服できていません。課題克服のための努力は引き続き頑張ります。

私は、改憲が叫ばれるいま、平和憲法を守り、弱者の立場に立ち続けたあなたの政治姿勢を学び、その意思を受け継いで活動していくことをお誓い致します。今野さんお疲れ様でした。ありがとうございます。やすらかに眠り下さい。